

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.76

地域愛あふれる 学びの宝庫・飯田

立命館大学政策科学部3回生

かわもと じんいちろう
川本 仁一郎 (京都府京都市出身)

私は夏頃から農商工連携について研究をはじめ、農業、商工業が盛んな南信州地域の農商工連携を受けている企業、支援する企業にフィールド調査を行った。農商工連携は国が地方創生の一環として取り組み、連携、協力相手は同地域で行う。私はフィールド調査を通じて自社のためだけでなく、「地域のために」という熱い思いを感じた。

企業は利益を追求する団体であり、物事の判断基準は自社にとってどうかというのが多い。しかし、南信州地域の企業では地域に根付きこれまで成長されてきたため、ヒアリング調査を行った企業の方からは地元の農業、工業を通じてという地域貢献の思いを持つ方が非常に多く、その思いの熱さは計り知れないものであった。少しでも新事業に挑戦するための農商工連携というきっかけは重要だと感じ、これまでの課題点を明らかにし政策的な解決策を提案した。

ものづくりの企業が多数ある南信州地域は農業、商工業の強みを生かした地域愛あふれる地域であると感じた。



発表会の様子